



Topics!

- ①レター INTERVIEW
「ベビー・子供服 リトルボックス」 水上麻美様
- 令和6年度上期トレーニーさん紹介
- 県内4信金と協会のラウンドテーブルを開催しました
- 能登の未来のために

①レター

INTERVIEW

頑張る
事業者を応援!

ベビー・子供服 リトルボックス 店主 水上 麻美様
興能信用金庫 能登復興支援部 係長 池端 克哉様
石川県信用保証協会 経営支援専門員 瀧本 翔太様

中能登町のアルプラザ鹿島内でブランド品のベビー服や子供服を販売する「リトルボックス」は、2024年能登半島地震で被災した店舗の再開に際して、信用保証協会の専門家派遣を活用しました。店主の水上麻美様は、「皆さんの手厚い支援で、素敵なお店になって再出発できます」と喜んでます。興能信用金庫から協会でのトレーニーを経験し、今回の支援に関わった池端様と瀧本様（現トレーニー）も参加して、復活までの足取りを語っていただきました。



池端様

水上様

瀧本様

専門家と担当者が一丸で被災店舗の復興を果たす

▶ 被災からの再起に専門家の力を

貴店の営業内容を教えてください。

水上 1999年にアルプラザ鹿島で開店したベビー服と子供服のお店です。翌年に従業員だった私が経営者にな



ってからは、複数ブランドの商品を取り扱うセレクトショップとして営業してきました。20年以上の営業でお客様も代替わりして、当店の服で育ったお子さんが大人になって、我が子の服を買いにいらっしゃるといったことも増えました。

専門家派遣を活用した理由は？

水上 能登半島地震ではアルプラザ鹿島も全館が被害を受けて、当店の店舗や商品もめっちゃめちゃになりました。一時は廃業も頭をよぎりましたが、お客様や興能信用金庫の担当者さんからの励ましに勇気もらって、営業再開を決めました。店をどう建て直そうかと考えたとき、3年前に信用保証協会の専門家派遣でお世話になった先生のことを思い出しました。

池端 商品の販促につながる店舗デザインを手掛けるVMDアドバイザーの先生です。私も2023年に半年間、協会にトレーニーとして出向して、専門家派遣の効果を実感していたこともあり、融資担当として協会にすぐ連絡を取って、同じ先生に新しい店舗づくりへの指導をお願いしました。

▶ 3年前の実績から生まれた信頼

3年前はどんな経緯で専門家派遣を受けましたか？

瀧本 当時の融資担当者だった私がお勧めしました。こちらのお店は私も家族で利用していて、ベビーカーが通行しづらいなど、店舗づくりに改善の余地があるように思えました。そこで専門家の視点から店舗のデザインやレイアウト、ディスプレイなどを見直すことをご提案した次第です。



水上 先生のアドバイスは分かりやすく説得力があって、何より当店のために熱心に取り組んでくださる姿勢に感激

しました。ですから、地震から立ち上がるお店のデザインにもぜひご協力いただきたいと考えたんです。

瀧本 あれから担当を離れていた私が、ちょうど協会でもトレーニーをしていたおかげで、今回の支援にも協会側から関わられたことには不思議なご縁を感じます。

▶ チームでつくり上げた新店舗

今回の専門家派遣をどう活かしましたか？

水上 今回の店舗づくりでは先生をはじめ、興能信金や協会の皆さんとも全員で、チームで相談しながら進められたことが心強かったですね。地震前のお店の印象は保ちながらも、通路の幅や試着室の入口を広げるなど、お客様にも私にも過ごしやすい空間になりました。

池端 リトルボックスさんは中能登町では唯一のブランド子供服店です。当金庫としても専門家による確かなプランを土台に、被災前に負けない店舗を形にするお手伝いができたことはうれしい限りです。



▶ 多彩な手段で伴走型支援を推進

今回の支援を通じて得たことは何でしたか？

池端 トレーニーの経験で事業者支援には、融資以外にもさまざまな手段があることを実感しています。今後も私たちにない発想や知識をもたらしてくれる存在として専門家派遣は活用したいと思います。

瀧本 私も今トレーニーとして、事業者の方々の歩みに長期的に伴走することの大切さを学んでいます。出向から戻ったあとも融資や支援を通じて実践していくつもりです。

水上 地震の被害を乗り越えてお店が生まれ変わっただけでなく、困ったときに相談できる相手として、興能信金や協会との信頼関係ができたことをとても頼もしく感じています。これからも地域のお子さんの暮らしを彩るブランド服を自信を持って提供していきます。



ベビー・子供服 リトルボックス
中能登町井田と1-1 アルプラザ鹿島2F
TEL・FAX:0767-76-2627

ブランド服で
子どもたちを
おしゃれに!